

2019 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	『ビリーブメントケアチーム ビリーブ』
活動テーマ	『ビリーブのじかん ～ 最愛のお子さまを見送られたご家族と、同じ経験をもつビリーブのメンバーが美味しい お菓子と飲み物を楽しみながら友のように過ごす、カフェスタイルのつどい～』



毎月第一日曜日の 13 時 30 分～15 時 30 分(年間 10 回)、大阪市鶴見区にある TSURUMI こどもホスピスの広場連携ルームをお借りして、ビリーブのメンバーと子どもを亡くしたご家族が自由に語り合う“カフェスタイルのつどいの場”が、『ビリーブのじかん』です。ビリーブのメンバーは、全員子どもを亡くした経験を持ち、こころのケアに関する一定の研修を受けた母たちです。最愛のお子様を見送られたご家族と、同じ経験をもつメンバーが、友のようにお話を伺います。陽射しが差し込む落ち着いた環境の中、季節を感じる美味しいお菓子(時にはメンバーの手づくり)とお茶をご用意しています。

子どもを亡くした家族は、これまでの生活が一変し、悲嘆のあまりに自分を労わることに気持ちが向かなくなる方が多くいらっしゃいます。そのような方に少しでも心が癒されるひとときを過ごしていただくことが、ビリーブメンバーの願いです。ご対象は、「生計をひとつにする、独立していない、30 歳位までのお子さまを亡くされた親御さん」とさせていただいています。

2019 年度の『ビリーブのじかん』には、多くの方が来訪してくださいました。共通体験者同士だからこそ共感し合える温かな雰囲気、リピーターとなってくださる方も多くいらっしゃいます。子どもを亡くしたご家族が、悲しみの気持ちを抱えながらも日常生活への活力を取り戻し、亡くなった子どもとの関係を新しく紡ぎ、明日へ歩みをすすめてゆくことができるようになる…。その一助に、この場所がなれば、と思っています。